

流域下水道への編入による処理施設の統合を実現 ～多摩地域における下水道事業運営の効率化と水環境の向上～

八王子市北野下水処理場の課題

- ・供用開始後約50年が経過
- ・高度処理の導入が困難
- ・施設の耐震性能が確保されていない
- ・設備維持補修費の増加

下水道事業運営の効率化と水環境向上を図るため、流域下水道（分流地区の八王子水再生センター）への編入事業を実施

※計画下水量

編入前：北野下水処理場 約6万m³/日 + 八王子水再生センター約17万m³/日

編入後：八王子水再生センター 約23万m³/日

北野処理区の編入区域



八王子水再生センター



北野下水処理場の老朽化した施設



PRポイント

- 北野処理区は合流・分流に分かれているため、**段階的整備を実施**することで、平成27年7月に**分流地区の汚水を先行して受け入れを開始**（八王子市が接続幹線を整備）
- 令和3年1月に**合流地区の汚水の受け入れ開始**（八王子市が合流改善施設等、都が水処理施設等を整備）⇒ 編入完了

取組の効果

- ①高度処理の導入による良好な水環境の創出
北野下水処理場 0% → 八王子水再生センター 68%
- ②下水処理に要するエネルギー量及び 温室効果ガス排出量を削減
- ③施設規模の大きい 水再生センターで処理を行うことで、スケールメリットが働き施設の更新費や維持管理費を縮減
- ④連絡管を活用した汚水、汚泥等の相互融通により、震災時等におけるバックアップ機能を確保

取組に関するエピソード

（下水道局）

平成13年度の多摩地域の下水道事業のあり方検討から始まり、平成21年度の流総計画への位置づけ、国や関係市町村との調整など、約20年にわたり八王子市と協働し、事業を完了させることができました。今後も、事業の効率的な運営と水質向上に連携して取り組みます。

（八王子市）

八王子水再生センターは分流の汚水処理施設であるため、合流地区の編入にあたっては、分水構造や合流改善の施策等、調整や検討事項が多岐に渡りましたが、東京都と連携し、事業を完了させることができました。